IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第10回)

トランプ大統領のSNS術をビジネスへ活用する

2017.02.10

2017年1月20日、正式に米大統領に就任したドナルド・トランプ氏。前年に行われた大統領選挙で、トランプ氏は、ソーシャルメディア(SNS)をうまく活用した。実際、トランプ氏は当選後のテレビ出演で、SNSが大きな助けになったと語っている。

トランプ氏が主に使っているSNSであるTwitterアカウント「@realDonaldTrump」のフォロワー数は現在約2400万人。大統領選当時は1500万人だった。トランプ氏がほんの140文字つぶやくだけで、それだけの人数のタイムラインにリアルタイムでツイートが届くのは、なかなか驚異的だ。

特に、140文字という短文でつぶやくTwitterにおいて、「数が力」(フォロワー数が大きな力)となるのは、この連載で以前取り上げたピコ太郎のPPAPの世界的大ヒットがいい例だ。フォロワー数世界第2位のジャスティン・ビーバーのツイートが大ヒットのきっかけとなった。

ただし、トランプ氏のSNSでの発言は独特だ。「炎上」を狙っているのではないかと思えるほどだ。自分を批判した人物を見境なく攻撃したり、感情的な暴言を吐いたり、衝撃的な発言を繰り返したりして、周りをハラハラさせる。しかし一方で、トランプ氏のツイートは演技でありパフォーマンスである、という見方をする人もいる。

企業でSNS活用をするとトランプの意図が分かる!?… 続きを読む